

## 目標達成計画

作成日: 平成 24 年 2 月 13 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員の介護認識や技量は昨年と比べ向上しているが、職員より移乗介助などまだまだ不安だとの声があがっている。結果、職員が自身を持ちご入居者様の気持ちを考え不安を取り除いて行けるよう教育や指導の場を増やして行きたい。	職員がご入居者様への介助に対して不安が無くなり、自身が状況に応じた対応に自信を持てるようになる。	施設長、管理者より定期的な介護指導の実施。また事業所全体での教育を行う。	12ヶ月
2	27	個別記録について時折、記録抜けがある。また職員間での伝達事項が継続せず、理解している方と、していない方との差が見られる。	個別記録について何が重要視されているのかを職員一人一人が理解できチームワークでの介護を目指す。また計画についても継続した援助ができる。	毎月、行なわれるフロアー会議やリーダー会議にて職員への指導、日々職員同士での確認。また委員会などの実施や教育係りを置き全体の向上を目指す。	12ヶ月
3	38	「その人らしさ」を大切にして職員が日々、援助をしているが時折、職員本位での声掛けや行動が見られる為、改善していく必要あり。	「自己決定」を理解して何事に対してもこれで良いのか最終確認ができる。またご入居者様のペースを把握して状況に応じた介護ができる。	施設長、管理者が日々、職員に対して教育を行なう。また現場のリーダーを含め、職員間でも注意を出来る環境作りに取り組む。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。